

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 8 日

評価対象事業	健福 - 46	成人健康診査事業	☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 市民健康課		評価者 市民健康課長 那須 文嘉
一般	会計	款 20 項 5 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名 健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	健診対象年齢に達した市民	意図	生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。
効果	市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	キット健診 肝炎検診 後期高齢者検診等	キット健診 肝炎検診 後期高齢者検診等	
予算額（千円）	153,429	161,629	
国県支出金	6,233	5,402	
地方債			
その他	116,102	123,146	
一般財源	31,094	33,081	0
当初人員配置数	2.5	2.0	0.0
人件費（千円）	14,187	10,312	0
事業実績	キット健診 肝炎検診 後期高齢者検診等		
決算額（千円）	145,069		
国県支出金	4,024		
地方債			
その他	119,592		
一般財源	21,453	0	0
人員配置実績数	2.5	0.0	0.0
人件費（千円）	13,806	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	後期高齢者健診の受診勧奨（年間）	件	105	↗	159		
	実績につながる活動	一体的実施事業での訪問や電話がけ、栄養相談や健康教育の場で市民に対して、年に1回の健康診査を受診しているかの声がけをした。				0		
活2	指標名	歯周病検診の受診・未受診者勧奨	件	-	⇒	11,842		
	実績につながる活動	7年度から20歳・30歳の市民に対して、無料で受診ができるハガキを5月下旬に送付した。40歳・50歳・60歳・70歳の未受診者に対して1月に再勧奨ハガキを送付した。				1,007		
活3	指標名	肝炎検診の受診勧奨	件	1,952	⇒	1,950		
	実績につながる活動	年度初め年齢が40歳の市民に対して、5月下旬に肝炎検診の無料クーポン券を送付した。				273		
活4	指標名	キット健診の受診勧奨	件	328	⇒	342		
	実績につながる活動	国保に加入している20歳・30歳の市民に対して、5月下旬に無料で受診できるハガキを送付した。若年層が対象となるイベントで、キット健診のチラシを使用し周知した。				30		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	令和7年度から健康増進法の歯周病検診対象者の年齢が、20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳となった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	市民に健診の受診勧奨をすることで、自身の健康に対する関心を高めることができている。健診を受診する機会が限られる若年層に対して、無料で受診できる機会を提供し、幅広い世代の健康増進に寄与している。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	肝炎検診の受診率（40歳無料クーポン券検診）	%	10	↗	9.7			3
成2	歯周病検診の受診率（20・30歳）	%	1.4	↗	5.0			2
成3	後期高齢者健診の受診率	%	33.4	↗	33.6			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	令和7年度から健康増進法の歯周病検診対象者の年齢が、20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳となった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.2について、目標値2.3%に対して5%となり、目標を達成した。20歳・30歳に対して無料で受診できるハガキを送付したことで、受診者数が増えたと考えられる。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	歯周病検診の受診勧奨（活動の結果指標）により、歯周病検診の受診率（20・30歳）（成果指標）が向上しており、これは本事業を行った成果である。しかし、後期高齢者健診と肝炎検診の受診率（成果指標）は昨年度から向上していないため、施策の方針の達成に貢献している事業であるものの、目的にそった十分な成果があったとは言えない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☒ できる	☐ できない	
	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない

		評価実施年度の方向性⇒	評価実施翌年度以降の方向性			
方向性	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	□ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す □ ③ 事業は休止又は廃止する ■ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	□ 拡大 □ 縮小 □ その他 健康診査 事業へ統合
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持 □ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ① 予算規模は現状維持とする □ ② 予算規模は拡大する □ ③ 予算規模は縮小する		
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし			
	総評	各取組について、概ね計画通りに進んでいるが、肝炎検診と後期高齢者健診の受診率については計画通りの成果につながらなかった。引き続き、市民に対しての受診勧奨を継続するとともに、健康診断に関する情報を発信する機会を増やすことで、市の健康増進への寄与を図る。			上位施策への寄与度 B	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	若年層（40歳未満）を対象とした健診・検診事業の実施自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	大和市	綾瀬市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	スマホdeドック・歯周病・子宮・（乳房健康指導）				結核・子宮・女性健診	子宮・乳（エコー）・結核	子宮・乳・骨粗しょう症	子宮・乳視触診検査・歯周病	3039健診・歯科健診歯ぐきの健診・結核・子
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	生活習慣病の予防は若年層（20代・30代）から必要であるため、自治体は一人でも多くの住民が健診・検診を受けられるよう受診機会を提供する必要がある。近隣他市と比べて若年層への健診項目は比較的充実しているが、受診率の低さが課題であり、スマホdeドック、歯周病検診、（子宮頸がん検診）の受診率を上げるための取組を引き続き行っていく。								